　霧と雲は基本的には同じものです。地面に接しているか、空に浮かんでいるかの違いであり、霧を上から見れば雲であり、山にかかっている雲の中に登山すれば、その場所は霧となるのです。

　霧は大気中の水蒸気が冷やされ、凝結し小さな水滴となったものです。そして、肉眼で物体が確認できる距離が１キロ未満の場合をいいます。また、雲は多様に形態が変化しますが、これにはそれぞれ原因があり変化するものです。この雲の変化を見ることにより、天気をある程度予測することができるため、昔から雲の観測が重要視されてきたのです。